

日帰り企画

式年遷宮の年の お伊勢さん参りツアー

2013年9月25日 (水)

ご遷御 (内宮 10/2、外宮 10/5) 直前の伊勢神宮に、国語塾 桜のメンバーとそのお友達 11 名で出かけました。元禄 2 (1689) 年、第 46 回式年遷宮に参拝した際の芭蕉の句

たふとさにみなおしあひぬ御遷宮

という状態になる前にと、隣に真新しい社殿を垣間見つつ、苔むした社殿にお参りして来ました。

混むのを避けるため、最初におかげ横町で腹ごしらえ。(本来はお参りの後で来るのが順番なのですが...。神様ごめんなさい。) ↓漁師料理の店 海老丸で「漁師汁」お出しがよく出ていて大変美味しかったです。



店の前にて

この時間、あまり混んでいなかったのも、おかげ座 (神話館) や、赤福氷も待ち時間なしでした。

その後、タクシーで外宮へ向かいました。緑豊かな神宮内は、やはりとってもいい気持ち。心が洗われる感じがします。



たぶん、儀式や式典に使われるのでしょうか。広いスペースが。池の上まで張り出しています。そのため、新しい正殿は遠くからしか見えませんでした。



たかのみやでも多賀宮では、新しい社殿も間近に見ることができました。



せんぐう館で遷宮についてしっかりお勉強をした後、再びタクシーに乗り、内宮へ。

内宮に到着。宇治橋を渡り、五十鈴川御手洗場みたらしのきれいな流れで、お清めをしました。



←この日は昼間にお神楽があったようです。

一本一本の樹を傷めないように、木のフロアが張られているのが、すごい。↓

正殿の隣には真新しい社殿。→現在の正殿入口から、新しい正殿入口まで、ご神体の移動のための屋根付きの通路が作られていました。



こんなふうにずっと繋がっています。↓



混みそうな所では、樹のまわりが保護されてます。あちこちでまだ突貫工事中の雰囲気でした。



あらかみのみや
←荒祭 宮では新旧の社殿が並ぶのを背景に記念撮影。

かざひのみのみや
←さらに橋を渡り、風日祈宮へもお参り。

何事のおはしますかは知らねどもかたじけなさに涙こぼるる

西行

最後におかげ横丁・おほらい通りでお土産を買い、(本店で赤福餅を堪能した方たちも) 高速バスで帰路につきました。

みなさま お疲れ様でした。

どうか 御利益がありますように!